

新しい入試制度について

那覇市立石田中学校・教頭

1. 特色選抜及び一般選抜に受検生自らが出願

(1) WEB 出願システムを利用し、受検生自身で出願します。

※特別募集（定時）、通信制、特別支援学校は、これまで通り文書にて出願

※海外・県外中学校等は、これまで通り文書にて出願

(2) 同時に特色選抜、一般選抜に出願

※①特色＋一般 ②連携＋一般 ③一般のみ ②は久米島、本部地域のみ。特別選抜のみの出願は不可

(3) WEB 出願システムにより、出願情報は、出願校及び出身中学校へ提供

※特色選抜でA高校、一般選抜でB高校へ出願した受検生の出願情報は、A高校、B高校、出身中学校で情報が共有されます。ただし、出身中学校へは学力検査点や合否情報は共有されません。

2. 全受検生が学力検査を受検

(1) 受検生は、一般選抜出願校で学力検査を受検

(2) 追検査は、特色選抜判定会議に間に合わせるため、日程を早めて実施（1日間で実施）

3. 特色選抜出願校と一般選抜出願校の間で学力検査点及び特色選抜判定結果の受渡（高校側）

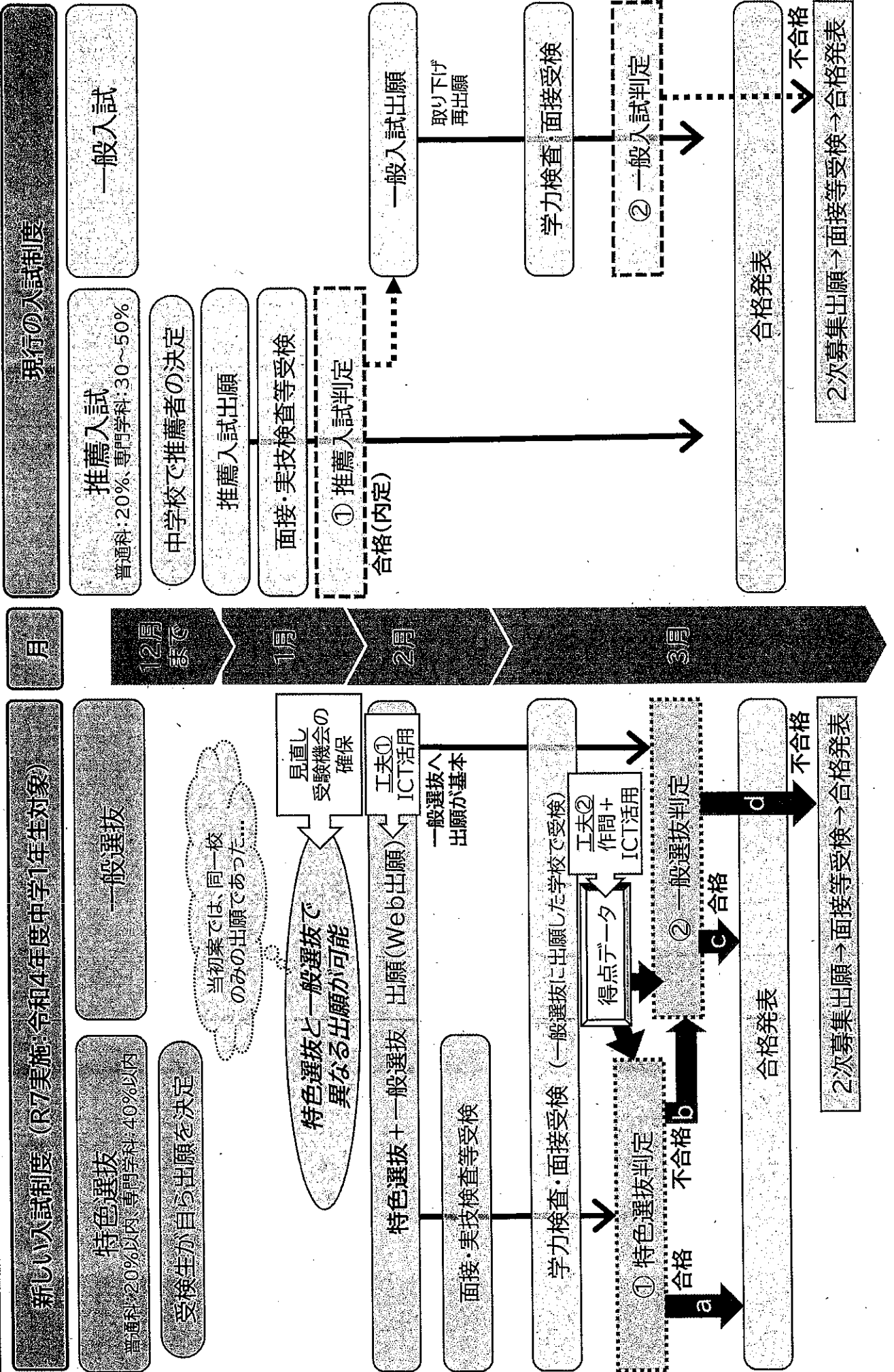
(1) 特色選抜の判定に用いる学力検査は、思考力を問う記述問題を除いた得点を採用（特色選抜における学力検査は、50点×5教科＝250点が満点となる）

(2) 6月17日（月）に各高等学校のHPにおいて、特色選抜の詳細版（案）の公開予定

4. 今後のスケジュールとして

令和7年1月29日（水）	特色選抜・一般選抜のWeb出願受付
2月4日（火）	特色選抜・一般選抜のWeb出願締め切り（16:00）
2月7日（金）	志願変更申し出
10日（月）	志願変更申し出
17日（月）	志願変更取り下げ・再出願
18日（火）	最終志願状況発表
3月4日（火）	高校入学者選抜学力検査1日目（国・理・英） 特支入学者選抜学力検査1日目
5日（水）	高校入学者選抜学力検査2日目（社・数・面接） 特支入学者選抜学力検査2日目
7日（金）	石田中学校卒業式
10日（月）	高校入学者選抜学力検査追検査（1日で実施） 特支入学者選抜学力検査追検査
18日（火）	合格発表
19日（水）	2次募集願書受付（～21日まで）
24日（月）	2次募集志願変更再出願（1日のみ）
26日（水）	2次募集面接
28日（金）	2次募集合格発表

特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -



推薦入試から特色選抜へ

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学びに向かう力の育成と中学校までの基礎学力の確かな定着を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。

現行の推薦入試の課題

沖縄県高等学校入学者選抜制度のあり方について(報告書)より
平成30年12月 沖縄県立高校入学者選抜制度改革に関する検討委員会

- ◆ (現行推薦入試制度は) 早期合格の手段としての傾向が強く、本来の趣旨が活かされていないとの懸念
- ◆ 推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下が見られ、一般入試に向けた学習環境に影響を及ぼすこともあり、義務教育段階の学習内容の確かな定着に課題
- ◆ 各中学校によって推薦基準が異なることによる不公平感の指摘

「特色選抜」の基本方針

① 生徒が自ら出願できる

- 学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す

② 生徒の特性や個性を伸ばす

- 受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③ 学力検査を全員受検する

- 義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。

④ 受検機会をこれまでどおり確保する

- 現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。

※ICT活用を推進する

- 出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。

